

GIKAI GUIDEBOOK

# おうじ議会だより

【あなたと議会をつなぐガイドブック】

2026  
2.20

No.156

まちの願いを、  
前へ

特集 - Special Feature -

## 議会だよりが 紡いだ時間

王寺町制 100 周年に寄せて

Topic\_01

12月の定例会で決まったこと  
おもな審議結果解説

Topic\_02

議員から行政に訊く  
一般質問の答弁

Topic\_03

見識を広げ、新たな政策へ  
議会のおもな動き

# みんなと 議会の 意見交換会

地域におもむく議会へ——。聴かせてください。みんなの意見

より開かれた議会となるよう、皆さんが決めたテーマをもとに話し合う「意見交換会」をはじめます。意見のひとつひとつから王寺町の課題を整理し、議会として政策立案、行政に提言できるよう、意見交換会を希望する団体や住民グループを募集します。「団体の活動や思いを知ってほしい」「議員はこのテーマをどう考えているのか知りたい」。そんな声をお待ちしています。

## 概要

### 対象

町内の各種団体、住民グループ（おおむね 10 名以上）

### 話し合うテーマ（申込者が設定）

下記①～③に該当するもので、具体的なテーマを設定

- ①町政に関すること
- ②町議会に関すること
- ③その他 町の重要な事項に関すること

### 開催場所

- ①役場 3 階協議会室
  - ②町公共施設の会議室
- ※団体等で会場を確保できる場合は、指定場所も可

### 開催日時（申込者が設定）

意見交換会は 2 時間程度を予定  
※次の時期を除く——議会の会期中、委員会開催日、議員研修の実施日、町のイベント開催日、年末年始の休日

- 応募テーマ、開催時期によってはお受けできない場合があります
- 意見交換会の内容は後日、報告概要を作成し議会だより等で公表します
- 寄せられたテーマをもとに議会運営委員会で参加する議員を決定します

## 開催までの流れ

01

団体やグループ（おおむね 10 名以上）で、町議会と話し合いたいテーマと希望日時を決める

02

町公式サイト上の議会ページか役場 3 階議会事務局で「意見交換会申込書」を入手し、開催希望日の 2 か月前までに議会事務局へ提出する（メール・FAX 可）

03

後日、町議会より「実施決定通知」が届く。運営方法等を具体的に協議したのち、意見交換会開催へ



詳細は町公式サイトへ



# GIKAI GUIDEBOOK おうじ議会だより

## もくじ CONTENTS

2 目次

3 みんなと議会の意見交換会

4 特集 議会だよりが紡いだ時間

6 12 月定例会のおもな審議結果

補正予算の解説／こども誰でも通園制度／  
王寺テニスパーク／泉の広場防災公園の第 2 期工事

8 12 月定例会のおもな付託外案件／審議結果一覧

10 12 月定例会の一般質問

丹下議員／中井議員／柘田議員／山本議員／  
小山議員／沖議員／幡野議員

14 議会のおもな動き

義務教育学校特別委員会／視察受入れ／  
小山議員が表彰／議場コンサート／訃報のお知らせ

16 3 月定例会の傍聴案内



**UD FONT** 見やすく読みやすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

### これってどんな意味？議会用語集

議会や行政で使われる難解な言葉を QR コード先で解説しています。





02

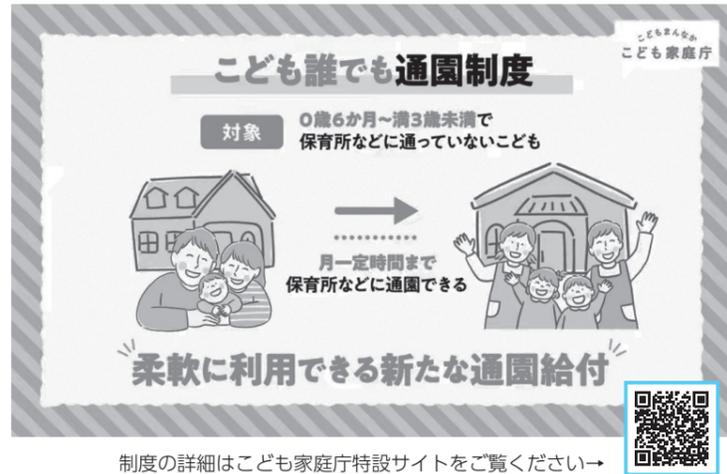
議第 63 号 王寺町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定

原案可決（全会一致）

## 柔軟に利用できる新たな通園給付 4月1日より「こども誰でも通園制度」開始

令和8年度から、保育所等に通っていない生後6か月から満3歳未満のこどもを対象に、月10時間までの利用可能枠の中で、就労要件を問わず柔軟に利用できる制度、「こども誰でも通園制度（乳児等通園支援事業）」が実施されることに伴い、国の設備及び運営に関する基準に沿った条例制定を全会一致で可決しました。

この制度は国の「こども未来戦略」に基づき、すべての子どもの育ちを応援し、子どもの良質な生育環境の整備や子育て家庭に対する支援を強化するためにはじまるものです。



制度の詳細はこども家庭庁特設サイトをご覧ください→

PICK UP!! まちのアレコレ、どうなっている？

## おもな審議結果を解説

令和7年第4回定例会は、12月9日(火)から18日(木)までの10日間行いました。提出された計10件の議案・発議等のほか、王寺町からの報告事項を受け、慎重に審議しました。おもな審議結果を解説します。※すべての案件を全会一致で可決

下記のQRコードから本会議の様子を動画で公開中



12/9 定例会初日



12/18 定例会最終日



03

議第 64 号 王寺町球技用コート条例及び王寺町球技用コート使用条例の一部を改正する条例

原案可決（全会一致）

## 令和8年度から 王寺テニスパークが利用可能に

葛下貯留池内に新たに整備を進めている新テニスコートが利用可能となるまでの間、代替施設として旧王寺小学校グラウンドに整備した仮設テニスコートが運用されていました。新テニスコートが今年度末の完成見込みとなることから、令和8年度から皆さんが利用できるよう、関係条例の一部改正について全会一致で可決しました。

### ▶改正の主な内容

- 旧王寺小学校球技用コートを廃止し、新たに供用開始する球技用コートの名称・位置を定める…王寺テニスパーク（王寺町葛下3丁目29番地の1）
- 使用料…王寺テニスパーク1面1時間（500円）／夜間照明施設1面1時間（500円）※王寺町の住民以外は使用料×2の金額



当該施設には、昨年4月に町議会として視察を行いました。貯留池としての役割・機能はQRコード先のおうじ議会だより153号20ページをご覧ください



01

議第 68 号 令和7年度王寺町一般会計補正予算（第5号）

原案可決（全会一致）

## 物価高に対応する給付支援など 補正予算 3億5,913万6千円を追加

0歳から高校3年生の子どもを対象に、1人当たり2万円を給付する子育て応援手当や、全住民を対象にした1人当たり1万円の地域振興券給付に係る予算などを増額する補正予算となりました。

### 歳入の主な補正

- 物価高対応子育て応援手当給付事業費補助金 9,005万円
- 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 2億6,908万6千円

### 歳出の主な補正

- 物価高対応子育て応援手当給付事業 9,005万円
- 地域振興券事業 2億5,720万円
- 学校給食センター管理事業 500万円  
→給食食材費の価格高騰に伴う賄材料費の増



令和7年第4回定例会

# 議案の審議結果

付託（物事を決めること）先の略称

- 即決…本会議で審議
- 総務文教…総務文教常任委員会で審議
- 暮らし環境…暮らし環境常任委員会で審議



付託先	件名	結果
<b>専決処分の報告</b> 緊急性が高く議会を招集する時間的余裕がない場合等に、行政運営の遅れや滞りを防ぐため、町長が議会の議決に代わり意思決定すること。専決処分したものは、町長が次の議会で報告する		
即決	王寺町長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の一部を改正する条例 法律が改正されたことに伴う条例の一部改正	報告受理
即決	令和7年度王寺町一般会計補正予算（第3号） 完成から約35年経過し老朽化している「和（やわらぎ）の鐘」の改修工事に伴う補正	原案承認
即決	児童福祉法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定 法律が改正されたことに伴う条例の一部改正	原案承認
<b>令和7年度王寺町補正予算</b> 3月議会で予算が成立した後、国の補助金等の変動や、緊急・やむを得ない場合などに予算の追加や変更を行うこと		
総務文教	令和7年度王寺町一般会計補正予算（第4号） 1億2,189万7千円の増額補正	原案可決
即決	令和7年度王寺町一般会計補正予算（第5号） 6ページで詳しく解説	原案可決
<b>条例の一部改正・契約・その他</b> 議決が必要な契約…予定価格が5,000万円以上の工事や請負等、700万円以上の不動産等の購入等が対象		
暮らし環境	王寺町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定 7ページで詳しく解説	原案可決
総務文教	王寺町球技用コート条例及び王寺町球技用コート使用条例の一部を改正する条例 7ページで詳しく解説	原案可決
暮らし環境	王寺町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 内閣府令が施行されたことに伴い、家庭的保育事業者等（市町村の認可を受けた保育者が、小規模保育所等の家庭的な環境で0～2歳児の少人数（19人まで）を預かる認可保育事業）は、利用乳幼児に対し、利用開始時または定期等の健康診断を行わなければならないが、当該健康診断の全部または一部を行わないことができる場合を追加するもの	原案可決
即決	王寺町道路線の変更 国道168号拡幅工事に伴い、町道の一部区間が不要となるため、王寺町畠田4丁目379番地先の山上5号線の延長138.97メートルを93.13メートルに変更するもの	原案同意
即決	泉の広場防災公園整備工事（第2期）の請負契約 8ページで詳しく解説	原案可決

04

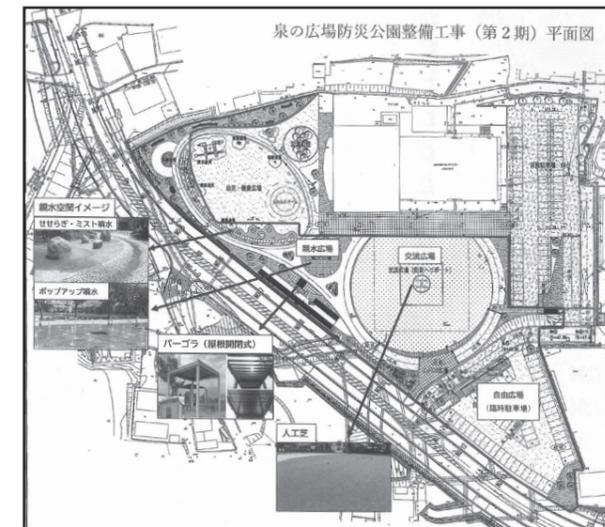
議第67号 泉の広場防災公園整備工事（第2期）の請負契約

原案可決（全会一致）

## よりよい泉の広場防災公園へ 第2期工事の請負契約

いずみスクエアと一体的な防災拠点として、また平時の地域住民の憩いの場として整備が進められている泉の広場防災公園（本町4丁目・畠田4丁目）。第2期工事では、主に人工芝を設置した交流広場、臨時駐車場としても活用できる自由広場、ポップアップ噴水を備えた親水空間等の整備が行われるため、下記業者との契約を全会一致で可決しました。

- ▶ 契約業者（入札により決定）／契約額  
株式会社ネクサス／3億5,750万円（税込）
- ▶ 工期 令和8年1月～令和9年3月



## おもな付託外案件

分野ごとの各委員会で、議案とは別に町から報告を受け、話し合うもの



その他の付託外案件は定例会最終日の動画へ

暮らし環境常任委員会 付託外案件

## 移動に関するアンケート結果

令和6年9月26日付で議会からの要望を受け、王寺町地域福祉計画の策定に係るアンケート調査の中で行なった「公共交通」についての質問に対する回答の結果や、義務教育学校に5～9年生を通わせている子育て世帯を対象に行なった「普段の外出や家族の送迎」についての調査の結果について報告を受けました。

理事者から、①乗合タクシーやデマンドタクシーの実施可能性について、タクシー事業者等にヒアリングを行うこと、②公共施設へのアクセスを確保するためにグリーンスローモビリティの活用可能性の検討を今後も継続していくこと、③高齢者の外出支援で行っている「やわらぎの手帳優遇措置」事業を今後も現状維持で継続していくこと、以上3点を今後の方針としていくと説明がありました。

議員の質問・町の回答

- Q：やわらぎの手帳優遇措置におけるタクシー選択者の増加状況は
- A：令和元年度末ではタクシーを選択する方が11%であったところ、令和6年度末ではタクシーを選択する方が18%となり、7ポイント増加した
- Q：タクシー事業者へヒアリングすることだが、『乗合タクシーやデマンドタクシー』の利用対象者は、高齢者のみで考えているのか
- A：基本的に採算性や事業実施の可能性を伺うことを想定しており、高齢者だけに限定してとは考えていない。まずはタクシー事業者の意向を伺う予定である
- Q：王寺駅だけでなく三郷駅にも送迎する時があると住民から伺っているが、承知しているか
- A：アンケート結果から王寺駅への送迎が一番多かったが、その他にも三郷駅や他の駅にも送迎しているという回答があり、その点は承知している



丹下議員

今年の抱負…個人としては心身健全、虚心坦懐、議員としては民意尊重、是々非々を意識したい。今年の抱負から逸脱していたら、指導矯正をお願いします。

今年の抱負…今年は議員任期4年の最後の年となります。これまで以上に、子育て支援、成人の健康増進等、住みよいまちづくりに取り組みます。

樹田議員



# 一般質問

第4回定例会の2日目、12月10日(水)

に一般質問を行った議員の質問内容を紹介します。

議員は、町が行う取り組み内容や問題点に関し、幅広く質問することができます。これに対し、町は今後の事業の進め方や問題解決のための考え方を答えます。

このやりとりは、町民の代表である議員が町の考え方をチェックし、町民の思いを住民サービスに反映させるという大切な役目があります。

## 一般質問紹介の流れ

議員から行政への質問見出し

詳しい質問



行政から議員への回答見出し

詳しい回答

**明神山の整備**

たんげ ごう  
丹下 豪 (日本維新の会)



## 観光資源としての明神山の環境保全対策は

令和7年3月10日に明神山が国登録記念物となり、9カ月が経過した。観光資源としての環境保全が急務であることから、下記の3点を伺う。

- ①登山ルート<sup>の</sup>看板改善…注意看板が倒壊・劣化し読めないものがあるが、改善の方針は。
- ②登山ルート<sup>の</sup>安全性確保…法面<sup>のりめん</sup>(切土や盛土により作られる人工的な斜面)で木の根が露出し倒木の危険がある箇所、急傾斜地でガードパイプが未設置の箇所への対応はどうか。
- ③山火事防止の啓発…火気厳禁看板の設置など、山火事防止策をどう進めるか。

## 登山環境の安全確保と啓発を継続して実施する

①参道には計34枚の啓発看板を設置しており、点検を行った結果、奈良県が設置する保安林に関する看板の劣化が特に著しいものだった。県に確認したところ、令和8年度に更新を予定しているとの回答を受け、現状、傷や汚れがひどいことから県との協議により、令和7年内に町が看板を撤去する。また町設置の看板も老朽化時に順次更新し、継続的に点検を行う。

②木の根の露出箇所は過去の作業道形成によるものだが、木の根が土留めの役割を果たし、コケや雑草が生えている状態であることで法面の安定が保たれている。今後も定期点検を継続し、異常時は速やかに対応する。急傾斜地のガードパイプは土地所有者の同意が得られず設置不可であったため、代替として道路幅を拡幅し安全性を確保した。

③既に多数の火気厳禁看板を設置し、パトロールと併せて啓発を実施している。今後も劣化状況を確認し、更新時にはより分かりやすい文章や絵で注意喚起できる看板を設置したい。これらの取り組みに進め、環境保全と火災リスク低減を図る。

**防災士・感震ブレーカー**

なかい かずき  
中井 一喜 (無所属)



## 町職員の防災士資格取得を

大きな災害が起きると、全組織を挙げて対応しなければならない。職員が防災・減災に関する幅広い知識を有することは、住民とともに作る災害に強い安全・安心な町を目指した協働の取組を進める上でも重要であり、職員の防災士資格取得の推進について伺う。

## 当面、5年計画で職員の防災士資格取得100%を目指す

地域防災力を高めるために、防災士主導の自主防災会を増やし、自主防災会全体で町内全域をカバーできるようなものになりたい。この取組を地域にお願いしていくには有事の際に、市町村業務の最前線に立つ町職員が率先し、防災士資格取得することが望ましく、住民の皆さんの理解を頂く上でも必要と考える。職員にとっても、防災士資格取得という自己研鑽に励むことは、個人のみならず、組織においても有益となる。

## 感震ブレーカー設置補助は

阪神・淡路大震災や東日本大震災では、地震による火災の半数以上を電気に起因する火災が占めている。地震火災は、感震ブレーカーが作動し、地震時に自動的に通電を止めることで、大幅に減少させることができると考えられている。国の支援にはまだ時間を要する中、感震ブレーカーをはじめとする地震火災対策は、地域の防災力向上のために必要であることから、国の財政措置に先駆けた町の感震ブレーカー設置補助について伺う。

これまで地震火災対策として、避難時に電気ブレーカーを切ることや感震ブレーカーの周知等の啓発は行ってきたが、さらなる地域防災力向上のためにも、感震ブレーカーの認知度を高め、設置の必要性の周知とあわせて、国に先行して町内全域を対象とした補助制度導入を進める。

**学校給食**

ますだ よしひろ  
栢田 佳宏 (日本維新の会)



## 学校給食の栄養基準と学校関係職員の給食費負担の考え方は

①国の基準では、学校給食の摂取エネルギーは1食当たり小学校中学年で650kcal、中学生で830kcalとされているが、本町の今年度1学期の平均摂取エネルギーは前期課程中学年で約610kcal、後期課程で約715kcalである。またカルシウムについても国の基準では小学校中学年350mg、中学生450mgとされているが、本町の後期課程(中学生)では約80mg下回っていた。日本栄養士会は、国の考え方を踏まえ、各校の実態に応じた基準の作成を示しているが、本町の考えと今後の対応を伺う。

②学校関係職員の給食費は月額4,500円であるが、近年の急激な物価高騰により、食材費の値上がり分は公費で負担されている。職員の値上がり食材費は自己負担とすることが適当と考えるが、町の考えを伺う。

## ①エネルギー量は現状で適正、カルシウムは摂取量の増加に努める ②学校職員の給食費は引き上げ済

①本町の学校給食は、学校での健康診断の肥満や痩せに該当する者の割合に配慮しながら献立を作成している。県の保健所に提出している奈良県特定給食施設等栄養管理報告書における、本町の令和5～7年までの3年間の児童生徒の肥満と痩せに該当する者の平均値は、普通が90%以上、肥満が約7%、痩せが2%となっている。このように児童生徒の生育状況は概ね良好であり、やや肥満の傾向があるものの、給食の提供エネルギー量は適正と考えている。カルシウムは乳製品のほか、小魚、海藻類などを取り入れているが、残食となる食材も多く提供量だけを増やしても摂取に至らない。しかしながら成長期に欠かせない重要な栄養素であるため、これまで以上に家庭の協力を得ながら実効性のある摂取量の増加に努める。②学校関係職員の給食費は、物価の推移が見通せない状況であったため、物価高騰分を全額公費で負担していたが、物価が下降する見通しが無いことから令和7年12月分から月額5,400円に引き上げた。



中井議員



山本議員

## 町営住宅活性・トラウマ配慮

はたの みちこ  
幡野 美智子 (日本共産党)



### Q 町営住宅への大学生入居を

低所得者向けの公営住宅に近隣大学の学生を受け入れるという取り組みが全国的に広がっている。住民の高齢化や空き室の増加で自治会活動の停滞が課題となる中、入居した学生に参加してもらうことにより地域のコミュニティの活性化が期待され、住民にも歓迎されている。学生には安い家賃で住める利点もあることから、次の2点を伺う。

- 1 町営桃山住宅の空き室の全体数とその内3、4階の上層階空き室は何室か
- 2 エレベーターの無い町営住宅において階段の昇り降りが厳しい高齢者は上層階に住みたくても住めない。上層階に大学生など自治会参加を条件として入居可能とする活性化策について、近隣の大学と連携を行うなど具体的な検討と調整を

### A 来年度から取り組みたい

1 総部屋数は232室。うち総空き室数は57室で3階、4階の空き室は26室。直近5年間の入居申し込みは減少傾向。2 大学生や新婚、子育て世代が入居できるよう、来年度からでも取り組んでいきたい。

### Q 子ども期の逆境体験者に配慮した対応と職員研修の充実を

子ども期の逆境体験は、失業や貧困、社会的孤立などに繋がりがやすく、特に複数の体験を持つ人は高いリスクを抱えているとされている。こうした人への二次被害を防ぐため、「相手にトラウマがあるかもしれない」という視点で関わるトラウマインフォームドケアの考え方を関係部署で共有する、横断的な職員研修の充実を図ってはいかがか。

A 職員研修の先進事例は少ないが、他自治体の実施内容や効果を見たとうえで検討するとともに、関係する部署から順次、県が実施する研修等へ積極的に参加していく。

## 王寺駅南エリアのまちづくり

おき ゆうこ  
沖 優子 (無所属)



### Q 王寺駅南エリアの再整備計画の状況は

王寺町は昨年、県が示した西和医療センターの移転先変更により、王寺駅南エリアのまちづくりについて見直しを余儀なくされた。駅南エリアの再整備は、町としての将来ビジョンを明確にし、まずは「まちづくり基本計画」の策定を目指すとしている。朝夕の通勤・通学の送迎による混雑に加え、塾の送迎による一時的な駐停車が散見される現状の中、計画策定にあたり以下の点について伺う。

- 1 駅前広場の拡張を含めた王寺駅南エリアの今後の姿
- 2 計画策定を進めるに当たっての課題、困難な点等

### A 関係機関と協議し再整備の検討を進めていく

1 王寺駅南エリアの再整備計画については、王寺駅の次の100年を見据えた最重要プロジェクトと位置づけている。現状分析を踏まえ、将来の駅周辺環境を丁寧に見直し、未来を具体化するための場として「王寺駅周辺再整備推進会議」の再起動を早めたい考えである。

リニア時代を見据え、王寺駅を交通結節点にとどまらない多様な機能を持つ複合拠点へ進化させるため、民間のノウハウや資金力の活用も視野に入れ、検討を進めていく。

2 国道25号の慢性的な渋滞と南駅前広場周辺の交通混雑の課題がある。国道25号については、斑鳩町、三郷町とともに国に対して、抜本的な改良の要望を続けてきた。これからも継続し、国・県への働きかけを強化していきたい。

駅前広場については、夕方から夜間にかけて進学塾への送迎車両が集中し、交通混雑を助長しているほか、帰宅時間帯にはバス待ちの列が歩道にあふれるなど、現在の利用状況に対して明らかに手狭な状態となっている。こうした状況を踏まえ、駅前広場の拡張を含めた再整備が必要との認識のもと、JR西日本をはじめ関係機関と協議を進め、駅南エリア全体の整備について検討を進めていく。

## 終末期医療ケア

こやま いくこ  
小山 郁子 (日本共産党)



### Q 人生会議(ACP)の普及啓発にどのような取組をされているか

人生会議とは、アドバンス・ケア・プランニング(ACP)の愛称で、もしもの時に備え、自分が大切にしていることや、どこでどのような医療やケアを受けたいかといった意向や希望について考え、家族や信頼している人たちと話し合い、共有する取組である。誰もが命に関わる大きな病気やけがをすることがあるため、元気なうちから自分の思いや考えを周囲に知ってもらうことが大切であり、また、その思いや考えは変化することから、繰り返し何度も話し合う必要がある。王寺町では、人生会議(ACP)の普及啓発にどのような取組をされているのかを伺う。

### A 教室やサロン等で「エンディングノート」を活用し人生会議(ACP)の普及啓発を継続して努めていく

令和6年度には、ACPの内容を取り入れた講演会を2回開催し、1回目は一般住民を対象に「みんなが学ぶ認知症」をテーマとして実施した。2回目は、一般住民に加えて医療・介護の専門職も対象として、「自分らしく生きるためのいのちの授業 ACPとは」をテーマに開催した。さらに、もしもの時に家族が困らないよう、自身の情報や意思を書き記せることができる「エンディングノート」を官民協働で作成し、介護予防教室等で配布した。

また、西和7町における医療と介護の連携を推進するための「西和メディケア・フォーラム」においても、令和7年度にACPワーキングチームを設置した。今後は多職種間の共通理解を深めながら、西和7町のルール作りなど、地域全体で支える仕組みづくりを進める。本町においても、「人生会議の日」に合わせた広報紙やホームページでの周知を強化するとともに、サロン等、身近な場で「エンディングノート」を配布し、書き方や活用方法等、家族との話し合いの重要性を学べる場を提供することで、より一層、実践につながる支援を進めていく。

## 児童生徒の安全な通学

やまもと えみ  
山本 恵美 (無所属)



### Q 児童生徒が安全に通学できる環境を整えるための取組と課題は

全国では、登下校中に児童生徒が事件や事故の被害にあうケースがある。本町における登下校時の見守り活動の現状と課題、通学路における安全確保対策等の取組について、次の3点を伺う。

- 1 登下校の見守り活動における活動者同士の情報共有や相互補完の状況、担い手不足、高齢化などの課題への対応策
- 2 警察等による防犯指導や、見守りが手薄となる区間への対応など、通学路の安全確保に向けた取組状況
- 3 青色防犯パトロール車の台数を増やした巡回強化

### A 地域や関係機関と連携した登下校時の安全確保を進める

1 本町では、登下校中の安全確保のため、学校・家庭・地域が一体となり様々な取組を実施している。主な取組である「地域ぐるみ学校見守り隊」は、保護者の付き添いなどと補完しながら見守りを行っている。見守り活動者には、教育委員会・学校から情報共有・連絡アプリを用いた情報共有や、情報交換・状況共有ができる機会として意見交換会を年1回開催している。担い手の確保対策として、町公式サイトや広報紙に募集記事を掲載するほか、各種団体の会合などにおいて登録の依頼を行っている。

2 警察や交通安全母の会が連携し、防犯・交通安全教室を毎年実施している。見守りが手薄となる区間については、保護者の付き添い、集団下校の実施、防犯カメラの設置、青色防犯パトロールの重点的巡回を行っている。

3 青色防犯パトロールカーの台数を増やすことは考えていないが、新たな協力団体の確保に努め、パトロールの実施回数を増やすなど、関係機関と連携しながら実施していく。今年度中に登下校の安全対策を協議する検討会議を関係者で行い、登下校の見守りの在り方や課題の整理を改めて行い、安全・安心に通学できる見守り体制を推進していく。

**計報  
 大久保議員  
 ご逝去**



大久保一敏議員（78歳、無所属）が、令和7年12月15日にご逝去されました。同議員は4期14年以上にわたり議会活動に尽力されました。ここに生前のご功績に深く敬意を表するとともに、哀悼の意を表し、謹んで故人のご冥福をお祈り申し上げます。

なお、現在の議員数は11名（欠員1名）となります。

**皆さんからの声**

皆さんから寄せられたwebアンケートや街頭インタビューから一部を紹介。今号も裏表紙から、あなたの声を聴かせてください。

文字ばかりでなく、写真や見出しが工夫されていて、パッと開いたときに読みやすいと感じました。スマホに慣れている世代でも、紙でも自然に読めるデザインだと思います。もう少し色や図が増えると、さらに手に取りやすくなりそうです。

年齢を重ねるにつれ、医療や交通、防災などが気になるようになりました。議会ですらした課題がどのように議論されているのかを知ることができるのは、大切なことだと思います。町民の声を受け止めながら、これからもより良い町づくりにつなげていってほしいです。

**行政視察とは**

他の自治体等の先進的な施策や取り組みを現場で確認し、今後の議会活動や政策立案に役立てる議員活動。

**議場コンサート**

**ベルの調べが議場に響く**



12月9日(火)、議場にて「議場コンサート」を開催しました。このコンサートは、議会定例会（本会議）の開会前に、地域で音楽活動を行う皆さんに演奏を披露していただくもの。今回は町のハンドベルチーム「ピアチェーレ」の皆さんが出演されました。クリスマスを前に「もろびとこぞりて」「ジングルベル」などのクリスマスキャロルのほか、「きよしこの夜」「Yesterday」といった冬を感じる唱歌の音色が議場に響きました。皆さん、ありがとうございました。

**義務教育学校特別委員会（第8回）**

**部活動の地域展開・教育課程柔軟化サキドリ研究校事業の説明を受ける**

12月15日(月)、第8回義務教育学校特別委員会を開催しました。まず、学校部活動の地域展開に向けた取組については、各義務教育学校において保護者説明会を10月末に開催したことや地域指導者の確保のため、町人材バンクを11月に立ち上げたこと、両校における部活動の方向性等の説明を受けました。委員から「保護者説明会では、どのような意見があったのか」との質問に対し、理事者から「部活動の地域展開について否定的な意見は特に無く、地域指導者の確保に向けて協力していきたいなどの前向きな意見もいただいた」との回答がありました。次に、令和10年度の学習指導要領の改訂

を見据えた文部科学省の教育課程柔軟化サキドリ研究校事業についての説明があり、両義務教育学校の申請が採択されれば、対象教科ごとに授業時間の10%程度を上限とし、子どもの資質・能力の育成に特に資する教育活動や教師の組織的な研究・研修等に活用していくことができると説明を受けました。委員から「この取組に対し文部科学省から補助金などを受けられるのか」との質問に対し、理事者から「補助金などはないが、このような新しい仕組みを作ることで、個別最適な学びの充実や教師の指導力の向上が図れるなど、大変意義があると考えている」との回答がありました。



部活動写真はイメージ



町公式サイトでは、部活動の地域クラブ活動への移行についての背景や検討委員会等のこれまでの町の取組、参考リンク等、詳細を確認できます

全国各地から



王寺町へ

**議会広報の視察受入れ**



11月から2月にかけて、下記の7団体の皆さんが、議会広報の行政視察に訪れました。「おうじ議会だより」のリニューアル経緯や、わかりやすく読みやすい紙面となるよう定めた文章やレイアウトのルール、編集コンセプトなどを紹介。町議会の広報編集委員長や職員と意見交換をされました。**●福岡県添田町 ●大分県杵築市 ●愛知県阿久比町 ●奈良県河合町 ●佐賀県唐津市 ●東京都八王子市 ●岡山県高梁市**

北葛城郡町議会議長会

**小山議員に永年勤続表彰**



1月30日(金)、北葛城郡町議会議長会主催による議員表彰式が上牧町役場で行われました。議会活動を通じ地方自治の進展のために大きな役割を果たしていることを高く評価するもので、その功労に報いるために表彰されます。王寺町からは小山郁子議員が、議会議員を通算15年以上務め上げたことを受け、永年勤続表彰を受賞されました。おめでとうございます。

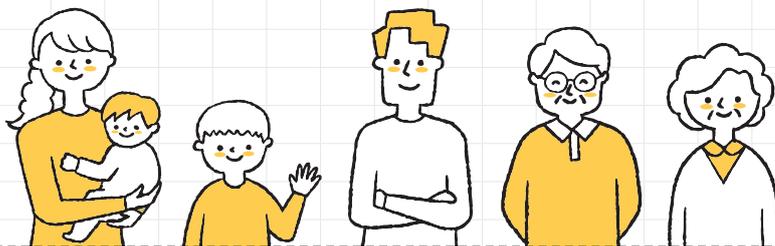
**おうじ議会 note  
 はじめています**

もっと皆さんにタイムリーな情報をお届けできるよう、メディアプラットフォーム「note」で発信をはじめています。議会だより編集の裏側や、視察、研修、委員会など、さまざまな情報を掲載していきます。アカウント登録等は不要ですので、ぜひ下記のQRコードからご覧ください。



# 議会を傍聴しませんか

だれでも自由に  
見たり、聴いたりできるんです



## 令和8年第1回定例会（予定）

日	月	火	水	木	金	土
3/1	2 議会運営委員会 (9:30 ~) 本会議初日 (10:00 ~)	3 本会議一般質問 (9:30 ~)	4	5 総務文教常任委員会 (9:30 ~)	6 くらし環境常任委員会 (9:30 ~)	7
8	9 当初予算審査特別委員会 / 一般会計 (9:30 ~)	10 当初予算審査特別委員会 / 特別会計等 (9:30 ~)	11 義務教育学校特別委員会 (9:30 ~)	12	13	14
15	16 議会運営委員会 (9:30 ~) 本会議最終日 (10:00 ~)	17	18	19	20 春分の日	21

### 傍聴方法

● **本会議の受付所** 役場3階 議場前

- 1 傍聴者名簿に名前を記入
  - 2 傍聴券を受け取り入場
- ※入退場自由 / 定員 24人

● **各委員会の受付所** 役場3階 協議会室前

- 1 傍聴者名簿に名前を記入
  - 2 傍聴券を受け取り入場
- ※受け付けは開始5分前まで / 先着 12人

### ネット中継視聴方法

- **本会議**の様子をパソコンやスマホ等で、いつでも視聴できます（ライブ中継・録画視聴）。
- 役場1階 玄関ロビーでも生中継



王寺町議会 中継



### 今号の表紙

新年あけ、早いもので2月です。2026年初の議会だよりの表紙は、達磨寺のイベントで撮影しただるまさん。まちの願いを集め、議会として前へ前へと進めていきます。



### 議会広報 WEB アンケート (QRコードから)

今後の「おうじ議会だより」の発行にあたり、皆さんの意見を参考にすのほか、寄せられた意見を次号に一部掲載します。

- 1 今号でよかった内容
- 2 取り上げてほしい内容や議員への質問
- 3 議会広報に対する意見・感想など

